

広報

ふんたん



Vol.28

特集

ふるさとの川と生きる

2008年
4・5月号

広報 なんたん もくじ

② 特集

ふるさとの川と生きる

⑧ 平成20年度南丹市予算

・345億3,456万円で
南丹市のまちづくり

⑱ インフォメーション

・平成19年に所得が減って所得税が課されなくなった方は、申告が必要です
・後部座席のシートベルト着用が義務化されます
・広報アンケートの結果 ほか

⑳ 行政トピックス

・南丹市消防団入退団式 ほか

㉑ いきいき南丹

・未成年とタバコ

㉒ ぶらりなんたん

～案山子の会～

㉓ 図書館へようこそ

㉔ 人権の窓／環・境・市・民

㉕ みんなのひろば

・第11回日吉ダムマラソン大会 ほか

㉖ 市の「花・木・鳥」が決まりました

今月の表紙

4月22日、美山漁業協同組合が主催する「美山川活性化プロジェクト」の一環で、平屋小学校の3年生から6年生29人が稚アユを美山川に放流しました。

ふるさとの川

美山町大野地区

私たちの住む南丹市には、日本海に注ぐ美山川（由良川）と、太平洋に注ぐ大堰川（桂川）の代表的な2つの河川が流れています。今回は、この2つの河川に注目し、私たちの生活に無くてはならない水資源について、見つめ直してみました。

大堰川の寅天堰（八木町八木・西田地区）

川と暮らし

ふるさとの野山に雨や雪が降り、山からわき出した水はやがて一つの流れとなって、川となります。私たちの暮らしは、その清らかな流れに支えられています。しかし、身近な存在でありながら、日々の暮らしの中で、川に意識を向けることは少ないのではないのでしょうか。

川は、命を育みます。私たちの生活用水としてだけではなく、魚や植物、農作物を育て、電力を作り出すエネルギーとしても活用されています。

川は、時には氾濫し、私たちの生活を脅かす存在でもあります。私たちは、川とうまく寄り添って



目吉ダム (目吉町)



園部町高屋・佐切地区

川と生きる

いくため、ダムや護岸工事の整備により水の流れをコントロールし、被害を軽減してきました。

自然の恵みがあふれる、ふるさとの川。この川が、悠久に清らかなで力強い存在であり続けるために、私たちが今できることは何か。まず、川を知ることがその第一歩です。

美山川と大堰川

美山川は、その源を京都、福井、滋賀の3府県の境をなす三国岳(標高959^{メートル})に発します。美山町を流れる棚野川と合流して大野ダムを経由し、途中、綾部市を流れる上林川をはじめとする支川を合わせながら日本海に注ぎます。延長146^{キロ}、流域面積1,880平方^{キロ}の一級河川です。

大堰川は、京都市左京区広河原と美山町佐々里の境に位置する佐々里峠に源を発します。京都市右京区京北から日吉町の世木ダム、日吉ダムを経由して、園部川の流れを受け、八木町から亀岡盆地へと南流します。その流れは、嵐山で京都盆地に出て、伏見区で鴨川を合せ、宇治川と合流し淀川となって太平洋に注ぎます。延長75・1^{キロ}、流域面積8,240平方^{キロ}の一級河川です。

治水と利水

水は、私たちの暮らしにとって不可欠な資源であると同時に、時には水害や土砂災害など危険ももたらします。

これまでに幾多の水害に襲われてきた私たちのふるさと。まだ記憶に新しいのは平成16年10月20日に発生した台風23号災害です。地域を流れる河川が氾濫し、流域の家屋や農地などに甚大な被害をもたらしました。

こうした水害から人びとの生命、財産、生活を守るための取り組みが「治水」です。また、川の



▲八木町では過去に大堰川の氾濫で市街地が水につかりました

インタビュー

人が集まる大堰川を 後世に伝えたい

榎原幹夫さん（八木町八木）



昭和35年、台風16号の襲来で大堰川決壊の水害にあった当時、私は25歳で八木町消防団自動車部の消防団員でした。台風が近づく中、水防資材のくいなどを運搬した記憶は今でも鮮明に残っています。昭和28年にも駅前通りの家屋が2階まで浸水する大きな水害を経験していたため、護岸工事の完成を切望しながら、台風の時節には毎年心配していました。

私の家が大堰橋の近くにあるため、大雨が降ると低地に家のある人から水位を問う電話がよくありました。しかし、日吉ダムや護岸工事が完成した今は、そんな電話もなく、安心して暮らすことがで

暮らす

・治水と利水
・水環境を守る

きるようになりました。

人の命を守るために護岸工事は必要です。かつての大堰川は、魚が多くすみ、子どもたちが川遊びをし、堤防には多くの桜の木がある自然豊かな憩いの場でした。護岸工事のため、やむなく桜の木も何本か犠牲になり、川も浅くなりましたが、河川敷は整備され、ウォーキングも楽しめるようになっていきます。その一方で、バーベキュー後などのゴミも目立つようになったのは大変残念です。

美しく、人が集まる大堰川を、孫たちに引き継ぎたいものです。



▲整備された大堰川河川敷はイベントなどが行われ多くの人でにぎわいます



▲約2,000人が参加する日吉ダムマラソン

水を生活用水、農業用水、発電などにうまく役立てることを「利水」といいます。

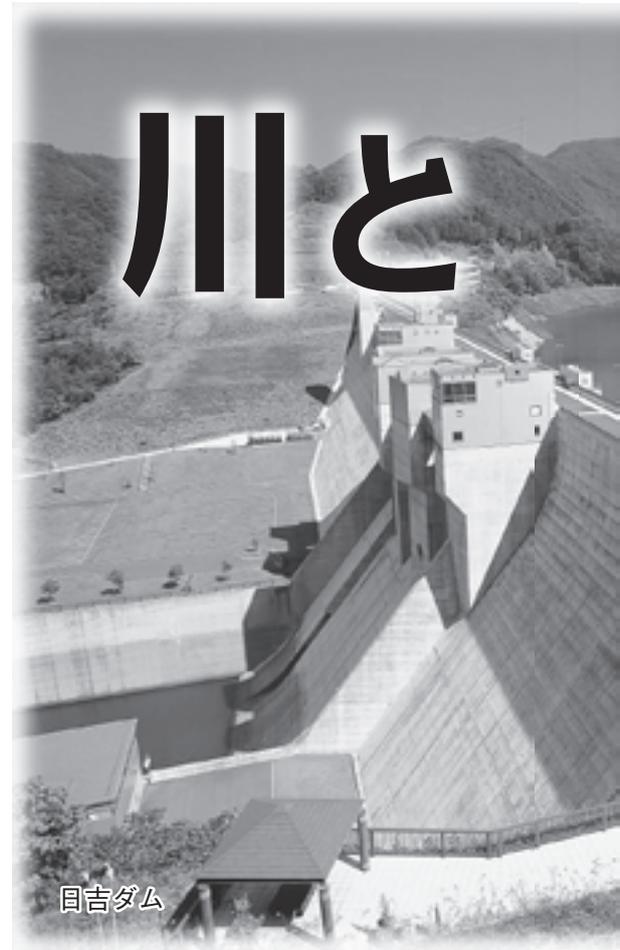
治水・利水対策としてダムの存在は重要です。南丹市には京都府が管理する大野ダム（美山町榎原）と、日吉ダム（日吉町中）、世木ダム（日吉町天若）という3つのダムがあります。

大野ダムでは、毎年、春に千本の桜が咲き誇り、秋のもみじ祭りにも多くの観光客でにぎわいます。

また、「地域に開かれたダム」第1号に指定された日吉ダムは、堤体内部の見学ができる日本で初



▲満開の桜の下で行われる大野ダムさくら祭り



めてのダムです。ダムに隣接するスプリングスひよしなど、年間を通じて市民や京阪神からの利用客があり、ダム周辺を走破する「日

吉ダムマラソン大会」は、全国からランナーが集まる一大イベントとなっています。

ともに下流域の水害の軽減を目的に建てられたダムですが、治水だけではなく周辺施設などを利用した観光資源として、南丹市の地域振興をも大きく担っています。

また、年間を通じて安定した水量を保つことで、その水を利用する私たちの生活用水の安定供給はもとより、宅地開発や企業誘致の促進などによるまちの発展にも期待できます。

水環境を守る

私たちが炊事・洗濯・入浴・トイレなどの日常生活で使った水は、「生活排水」になります。下



▲美山町に新たに完成した弓立浄化センター（宮島・大野地区汚水処理施設）

水道は、その生活排水に含まれる汚濁物質を処理して、悪臭、蚊やハエの発生を防ぎ、伝染病の発生を予防し、快適な生活環境をつくっています。

現在、南丹市では各地域に公共下水道や農業集落排水、合併浄化槽による処理施設を整備し、生活排水対策を進めています。

この生活排水対策は、川や海などのきれいな水環境を保全し、私たちの生活に必要な水や、農作物の栽培に必要な水の保全にもつながっています。

アユが育つ川

美山川・大堰川・細野川（八木町流域）では毎年4月から5月にかけて稚アユが放流されます。そして6月上旬にはアユ釣りが解禁され、釣りを楽しむ人でにぎわいます。

アユは琵琶湖などで、ある程度成長したものを仕入れて、美山川では美山漁業協同組合が、大堰川では大堰川漁業協同組合が、細野川では上桂川漁業協同組合が放流をされています。

放流されたアユは、最初は6センチから10センチ程度のものですが、川底



▲友釣りで釣れたアユ（昨年の美山川の解禁日に撮影）



▲毎年夏には多くの釣り客が訪れます（美山川）

のコケを食べながら大きくなり、6月のアユの友釣りの解禁時には20センチを超えるまでに成長します。アユは、体を覆う粘膜に香りが

あることから別名「香魚こうぎょ」と呼ばれます。この香りは、アユが食べるコケによって違くとされており、きれいな川のコケで育ったアユは良い香りがするといわれます。南丹市の清流で育ったアユは非常に良い香りがするとされ、地元の料理店などでは、初夏から秋にかけて旬の食材として観光客の舌を堪能させてくれます。

川づくりは人づくりから

漁業協同組合は、アユやアマゴなどの稚魚放流や育成保護、遊魚券の販売や遊魚監視、河川環境の保全に至るまで、さまざまな役割を担ってられます。

「この美しい川を次の世代に受

育むもの

・アユが育つ川
・川づくりは
人づくりから



▲地域の子どもたちも放流に参加

け継いでほしい。そのためにもっと子どもたちに自然を感じてもらい、川のことを知ってほしい」と美山漁業協同組合の上林實組合長。昨年は地元の小中学生を対象に「雑魚釣り教室」などを行われました。

児童たちは手作りの竹ざおを使って、エサのミミズでウグイなどの魚を次々と釣り上げました。これは、美山漁業協同組合が主催する「美山川活性化プロジェクト」の一環として、昨年度から行われています。子どもたちにもふるさとの清流に親しんでもらうことで、将来にわたって地域の河川環境を守りたいという思いで始められました。今年度も、4月の下旬に稚アユの放流を、地元の市立知井小

インタビュー

子どもがいつまでも
川で遊べるように

吉田幸広さん（美山町和泉）



地元の和泉・上司区では、今でも子どもたちが夏休みになると地元の美山川にある遊泳場に毎日のように泳ぎに行つて、真っ黒に日焼けするまで泳いでいます。

毎年、子どもたちが夏休みに入る前に、地域の保護者が集まって遊泳場の清掃を行っています。川まで降りる道の草刈りをして、落ちていたゴミを拾います。

遊泳場の入り口には遊泳場と分



川が

あしゅう
芦生の森（美山町）

かるように看板を立てているのですが、掃除の時には釣り客らが残したゴミが散乱しています。美山のきれいな川で楽しんでもらうって、自然を感じてもらうのはいいと思うのですが、その自然を壊すようなことはやめて欲しいと思います。

自分たちも昔はこの川で泳いでいました。年月は過ぎましたが、美山のきれいな水はこれからも変わらずに残していきたいという願いがあります。今年、この地域には小学生が6人で、年々数が減ってきていますが、子どもたちには昔も今もきれいな川の流れを体感して、自分たちが大きくなってからも、ふるさとの自然を守りたいという思いを持ってもらいたいと思

います。

もちろん、地元の小学校にはプールが整備されていて水泳の授業もあります。しかし、子どもたちには川で遊べる素晴らしさを全身で感じてもらいたいと思います。また、低学年から高学年までが一緒に遊べる場なので、上級生が下級生のことを気遣う姿勢が自然と身につくようです。

今年も、小学校が夏休みになる前に、遊泳場周辺の清掃活動を予定しています。少子化で保護者の数が減っているため、大変な作業ですが、この豊かな自然を地域の財産として、いつまでも川で遊べる環境を子どもたちに受け継ぎたいと思います。

学校・平屋小学校の児童と一緒に行われました。

また、大堰川漁業協同組合では、日吉、園部、八木の各支部で夏に魚つかみ大会を実施されています。

河川環境の保全に必要なのは、人びとの意識です。川からの恵みを受けて生活をしているということ意識することが、ふるさとの川を守ることに繋がります。そして、次の世代に残したいふるさとの自然環境を守ることに繋がります。

ふるさとの、なにげなく川のあふる風景。穏やかな風景を私たちが守り続けることで川もまた、私たちの暮らしを支え、たくさん命を育んでくれるのです。



▲知井小学校の児童を対象にした「雑魚釣り教室」

平成20年度南丹市予算

345億3,456万円で 南丹市のまちづくり

～将来を担う子どもたちに負担を残さないために～

平成20年度予算額の内訳

(単位未満四捨五入)

会計名		予算額
一般会計		218億0,000万円
特別会計	国民健康保険事業	37億0,620万円
	老人保健事業	7億3,510万円
	介護保険事業	29億8,740万円
	市営バス運行事業	4,980万円
	簡易水道事業	7億5,710万円
	下水道事業	31億2,220万円
	商品券事業	1,310万円
	土地取得事業	1億0,060万円
	後期高齢者医療事業	4億7,260万円
	企業会計	上水道事業会計
合計		345億3,456万円

平成20年度一般会計、特別会計当初予算が決まり、総額345億3,456万円となりました。今年度予算は、

- ①南丹市総合振興計画※1の将来像を実現する
 - ②行財政改革を反映する
 - ③市民や地域のニーズにきめ細かく柔軟に対応する
- の3つの柱から、生活面を重視した予算となっています。

■予算編成の三つの柱

①「森・里・街がきらめくふるさと南丹市」を実現する予算

限られた財源を、より市民が望むものへ集中するため、経費を徹底的に見直し、市総合振興計画に掲げる「森・里・街がきらめくふるさと南丹市」を実現する、市の将来を見据えた予算に努めました。

②行財政改革を大胆にすすめ、コストを意識する予算

三位一体※2の改革により地方分権が進みました。これからは地方

自治体が自ら考え、施策を行う時代となり、行政経営の優劣がはっきりと市民から問われる「自治体選別の時代」です。

市町村の格差は、これからますます広がっていくと考えられ「どこに住んでも同じサービスを受けられる」という時代は終わりを告げました。そのため、改めるべきところは改め、伸ばすべきところは伸ばす「財政基盤の強化」が、最も優先すべき課題です。市では将来に向けてコストを意識した予算に努めました。

③市民や地域のニーズにきめ細かく、柔軟に対応する予算

事業の選択と集中を基本に、「子育て」「福祉」「教育」「安心安全」など市民生活に直結し、住みやすさが実感できる事業への重点化に努めました。

■平成20年度予算について

一般会計では平成20年度予算は、前年度と比較して15億8,200万円(6・8割)の減となっています。

歳入においては、市税は企業誘致や新築家屋の増加などにより増

用語解説

※1 総合振興計画・・・長期的な展望に基づいて、まちづくりの将来目標を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するために、各行政分野における計画や事業の指針を明らかにするものであり、市政運営の最も基本となる計画です。

※2 三位一体の改革・・・国と地方の税財政に関する改革で、具体的には、

- (1) 国から地方への補助金の削減、
- (2) 国税から地方税への税源移譲、
- (3) 地方交付税制度の見直し、の3つを指します。これら3つの改革をまとめて実行することから、「三位一体の改革」と呼ばれています。補助金と地方交付税の削減と見直しによって国の負担を減らす代わりに、これまで国税として徴収してきた一定の税財源を地方に移し、地方自治体が自由に使えるようにすることを目的としています。

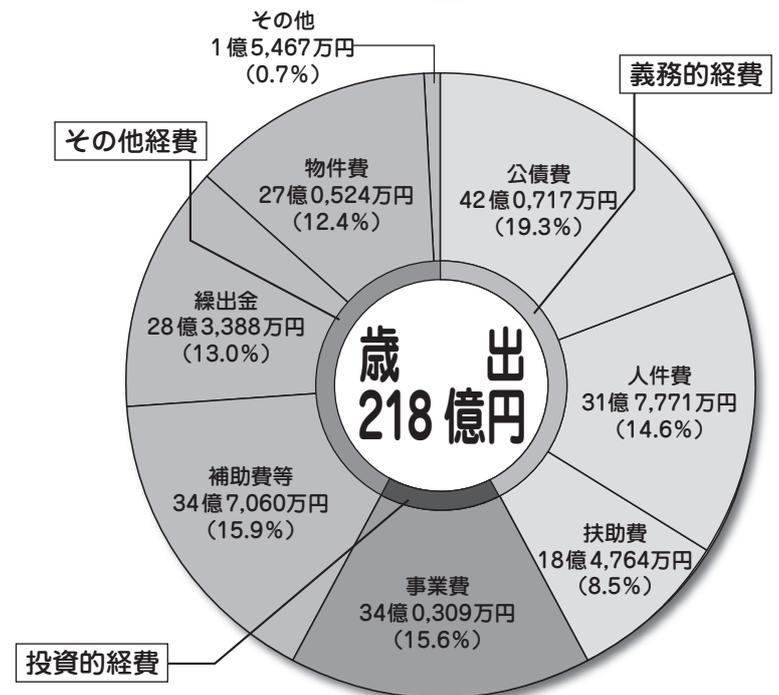
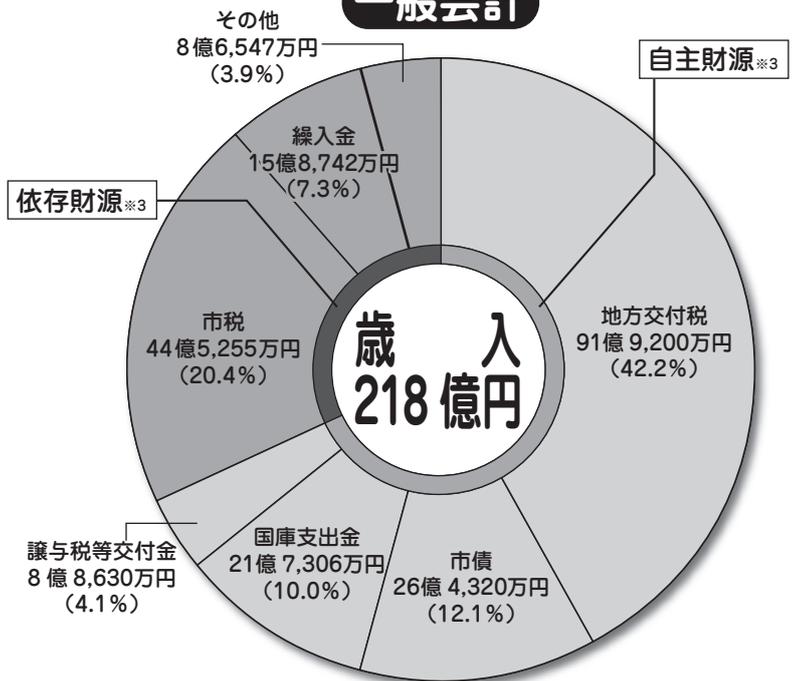
※3 自主財源・依存財源・・・自主財源とは、市独自で収入額を決められる自主的な財源のことをいいます（市税、使用料、手数料など）。依存財源とは、市独自で収入額を決められない財源のことをいい、国などの政策により収入額が大きく影響を受けます（地方交付税、国庫支出金など）。

※4 公債費・・・市が借り入れた地方債（長期の借金）の元利償還金（借金の返済）および一時借入金（資金繰りの借金）の利子の合算額。

※5 扶助費・・・生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき対象となる方に支給する費用などのことで、市が法律に基づかないで、単独で行う費用なども含まれます。

歳入・歳出の内訳

一般会計



額を見込んでいますが、南丹市の自主財源は歳入全体の32%しかありません。一方で歳出においては、公債費^{※4}や人件費、扶助費^{※5}を合わせた必ず支払わなければならない経費（義務的経費）が、歳出の42%を占めています。このような厳しい財政状況の中、行財政改革の一つとして特別職の給料を19年度の自主的な削減からさらに、市長は5割から10割に、それ以外の特別職は3割から6割に、一般職員（管理職）も管理職手当を3割から4割に削減し、義務的経費の抑制に努めています。また、これからの世代に負担を残さないよう起債（借金）を抑制し、本年度末には約10億円の地方債（借金）残高を減らす努力をしています。

特別会計・企業会計については、福祉や市営バス運行、上下水道事業など住民サービスの充実を図る予算となっています。今後も、より一層の財政の健全化を図り、まちづくりに市民の声を反映できるように努力していきます。

事業効果や地域間のバランスなども十分考慮しながら、南丹市全体の視点で効率的、計画的な事業に取り組んでいきますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

「最小の経費で最大の効果を」

南丹市は今、厳しい財政状況が続く中で、少子高齢化への対応や経済活性化、雇用対策などさまざまな課題に直面しています。今後、市民満足度の高いサービスを提供し続けるためには、これまでのやり方を見直し、新しい行政システムに変革していく必要があります。限られた財源の効率的・効果的な運営に努め、徹底した検証と事業評価を行ってまいります。

厳しい財政状況を職員一人ひとりが十分認識し、理事者と職員が一丸となって、「最小の経費で最大の効果」を挙げる体制づくりを強力に推し進めていく所存ですので、市民の皆さまには格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

行政改革の推進のために

市では多様化する市民ニーズに応えるため、既成概念にとらわれない柔軟な発想や手法を取り入れ「新たな南丹市」の構築を目指し、行政改革を推進しています。

市の財政状況

歳入では、全体の42%を占める地方交付税が、今後、減少傾向となっていく予定です。また、合併した市町村が受けられる優遇措置が、

平成28年度以降から5年間で本来の交付税額にまで徐々に減少していきます。

平成19年度までは、合併から間もないこともあり急激な変化は難しかったため、経費節減に努めながら、赤字額は、主に基金（貯金）を崩して補ってききました。

しかし、基金も年々減少しており、これまでと同様の住民サービスなどを続けると平成23年度には基金を使い果たしてしまいます。

急激な人口増が見込めず、不安定な社会経済情勢から推測すると収入の増加は期待できません。逆に地方交付税の優遇措置がなくな



ることにより収入が減り、少子高齢化の進行によって支出の増加が予測されます。

将来を担う子どもたちに平均的な住民サービスが受けられるように財源を確保するには、早急な行政改革により、効率的な住民サービスを目指し歳出削減を推し進める必要があります。

平成20年度から新しい予算編成手法

平成20年度予算編成から、自己

決定、自己責任の拡大に向け、住民により近い担当部局が、自らの知恵を絞り、住民ニーズの迅速な予算への反映を図る手法である「枠配分予算制度（枠配分方式）」を導入しました。

枠配分方式とは

これまでの予算編成は、財政部局が各部局からの予算要求を査定する「予算積上げ方式」でした。これに対して「枠配分方式」は、その年度に見込まれる一般財源の予算枠を各部局に配分し、その範囲内で各部局が予算編成をする手

法です。

なぜ導入するのか

今年度、この方式を採用した最も大きな要因は、厳しい財政状況に対応するためです。行政サービスが多様化する中、現場からの要求は膨大で、限られた財源では削減を主にした取捨選択をしなければなりません。

そこで、事業の優先順位をより理解している担当部局へ予算枠を配分し、その枠内で担当部局が予算編成する方がスムーズな予算編成が可能になります。

枠配分のメリット

限られた財源を有効に活用するには、ある事業に予算を配分するために、他の事業を削って予算をしぼり出すしかありません。従来は、財政部局の査定では、現場と財政部局の認識の違いにより、現場が必要が高いと考えている事業の予算が配分されない懸念があります。また、新規事業など、有効な事業であっても、その必要性が財政部局に伝わらなくては、予算計上は難しく、予算の硬直化を招

きやすい状況でした。

枠配分方式では、各部局が自主的に事業の縮小や廃止した事業分を、部局の判断で新規事業に予算を回すことが可能となり、事業の廃止・新規立案が柔軟に行うことができます。また、自主的・主体的に予算を編成する必要が出てくるため、事業実施にあたっては補助金などの財源がないか、効率的な予算執行方法はないか、といった工夫をすることにより、財政状況や事業コストに対する意識の向上につながります。

事業評価の実施

平成20年度の当初予算を作成する際に、担当部局が事業概要を再検討し、現況課題や事業の効果、事業の達成度を分析する事業評価を行いました。

達成度のチェック項目は、有効性、公共性、緊急性、効率性、市民協働の事業推進度合をそれぞれ5段階で評価し、継続の必要性を判断する資料としました。

その結果、事業の縮小や廃止を検討したり、拡充や新規事業の立案を行い、当初予算を作成しました。

新たな事業評価への取り組み

市では、市の価値を高め、市民の方々が「住んでいてよかった」と実感できるまちづくりを、市民の代表である市長と市議会がそれぞれの立場で検討し、審議し合って推進しています。

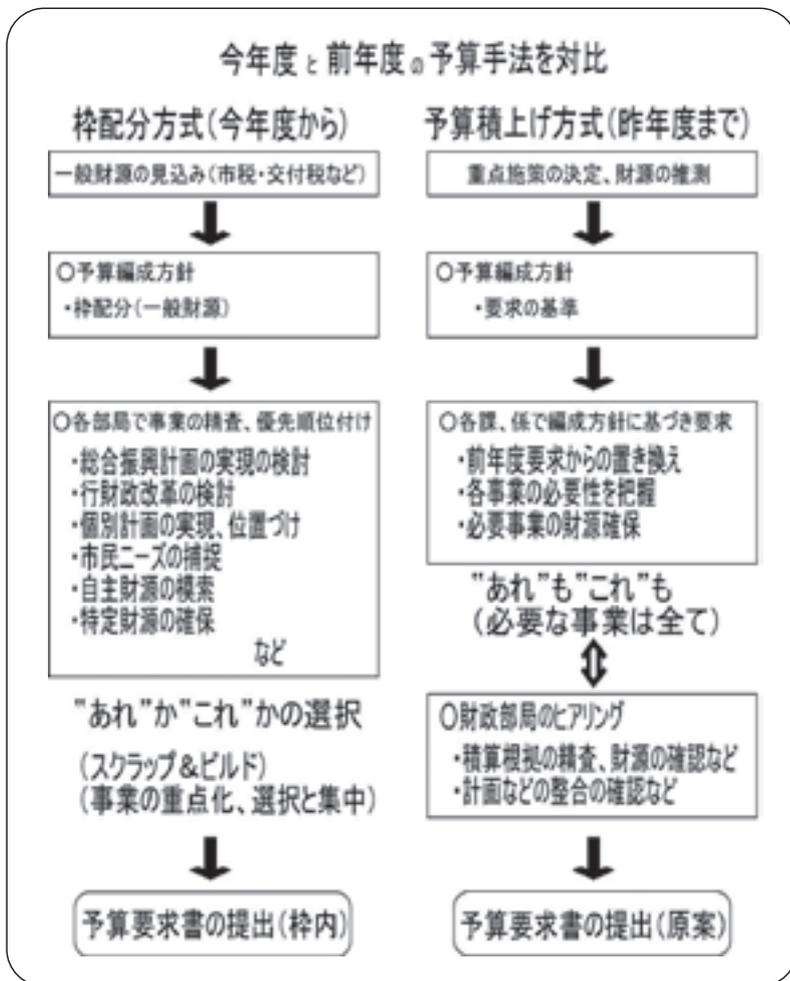
「社会情勢の変化に対応した、

より効果的かつ効率的な行財政運営を確実に推進すること」

また、

「市民の皆さんが何を望み、何を期待しているのかを的確に捉え、市政に反映させる仕組みを確立すること」

これらを目指し、市民の皆さんや学識経験者の方々に事業を評価していただく仕組みづくりに、平成20年度から取り組みます。





予算の使い道について、南丹市の将来の道しるべとなる総合振興計画の、基本計画の第1章から第4章に分けて事業を紹介します。

予算の使い道

一般会計の主な事業を紹介します

●=前年度からの継続 ○=拡充など ○=新規 (単位未満四捨五入)

○地域子育て支援センター事業

469万円

子育てすこやかセンターを八木、日吉および美山地域に拡充し、地域のボランティアの協力を得ながら、子育て世代の相談や情報の提供、地域の子育てサークルなどの育成を行います。また、家庭での育児を支援する児童のショートステイなどの子育て短期支援事業を実施します。



▲子育てすこやかセンター (園部町小桜町)

●すこやか医療給付費

3,600万円

医療費のうち1カ月1医療機関200円を控除した額を、支給申請者に対して助成します。

●すこやか手当支給事業

4,885万円

市内に3年以上居住されている方の児童出生時から満5歳までの間、月額で第1子につき3千円、第2子につき4千円、第3子以上は6千円の手当を支給します。

○麻しん風しん(MR) 予防接種3期・4期

754万円

中学1年生と高校3年生の年齢にあたる方に対し、麻しん風しん(MR) 予防接種を実施します。

第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る

子育て支援

●子宝祝金事業

2,410万円

市内に3年以上居住されている方の出生時に第1子は5万円、第2子は10万円、第3子以上は30万円の祝金を支給します。

●入学祝金事業

2,770万円

市内に3年以上居住されている方の児童、生徒が、小・中学校に入学時それぞれ5万円の祝金を支給します。

○発達支援センター改修事業

5,161万円

川辺保育所を「南丹市発達支援センター」として改修し、発達相談、早期支援、療育事業を一体的に実施するとともに、障がいのある児童の在宅福祉サービスを提供し、地域で安心して生活が送れるよう支援します。



▲現在は休園中の川辺保育所 (園部町)

医療・福祉

○福祉医療費（長寿医療制度関連）
1,000万円

平成18年6月に成立した医療制度改革関連法により、老人保健法が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改められ、65歳以上75歳未満の障がいのある方で長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の障害申請を撤回された方にかかる福祉医療費を支給します。

○地域福祉モデル事業
116万円

小学校区単位を想定した地域における総合的な自主防災の仕組みづくりを通じて、地域福祉の推進を図ります。

○小規模通所授産施設移行支援費
1,342万円

障害者自立支援法による小規模通所授産施設の新事業体系への移行後の運営を支援することにより、障がいのある方の自立更生と就労を支援します。

○外出支援サービス事業
565万円

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や心身に障がいのある方に対する外出支援サービスの使用車が老朽化したため更新します。（日吉町・八木町）

◎地域活動支援センター事業
1,700万円

地域の身近なところで、障がいのある方たちが気軽に参加できる施設を整備し、創作・生産活動、社会交流や生活支援の相談などを行い支援します。



◎妊婦健康診査助成事業
180万円

経済的な理由などによる受診回避を避けるため、妊婦健康診査の無料券を年5回発行します。

○ファミリーサポート事業
318万円

地域の中で会員を募集し、会員同士で地域での子育て支援活動を行うファミリーサポートセンターを開設して、お互いに助け合うネットワークの輪を広げていきます。

教育

○特別支援教育支援員配置事業
782万円

小・中学校に在籍し、教育上特別支援を必要とする児童生徒に対して、障がいによる困難を克服するために、発達障がいのある児童生徒の学習指導上の支援などを行う特別支援教育支援員を6人配置します。

○小・中学校耐震補強設計委託
700万円

園部小学校体育館、殿田小学校体育館の耐震補強工事に先立ち、実施設計を委託します。

●殿田小学校改築事業
4億2,463万円

殿田小学校に併設する市立日吉学校給食共同調理場およびグラウンドの建設と、関連する備品を購入します。



▲殿田小学校（日吉町）

●小学校英語活動等国際理解活動費
98万円

文部科学省からの指定事業で南丹管内を推進地域としたモデル拠点校（摩気小学校）を指定し、外国語指導助手や地域人材などの効果的な活用を含めた実践的な取り組みを推進します。

●読書指導員配置事業
637万円

市内の小・中学校すべての学校図書館に指導員を配置し、児童生徒の読書活動を支援します。また、公立図書館との連携を重視しながら児童生徒が、主体的に学習するための図書館利用をさらに促進するとともに学校読書活動の活発化を図ります。

第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る

地域資源・景観保全・環境

○景観形成推進事業

61万円

多くの市民が誇りと感じている市域の優れた景観資産について、良好な形成と保全のための方針を具体化する市独自の景観条例を策定。市民とともに景観保全について考える場づくりを行います。

●資源ゴミ集団回収事業補助金

180万円

資源ごみの集団回収を自主的に実施する団体に対し奨励金を交付します。

農林業振興・観光

○京野菜等産地育成事業

395万円

京野菜栽培機械の導入やパイプハウス整備に対し補助を行います。

○農業・農村活性化経営体づくり事業

1,831万円

農地や農産物、人材などの地域資源と組み合わせることで農村経営体を育成します。〔美山町平屋地区（精米ミニプラント）・八木町諸畑地区（水稲機械）〕

○土地改良事業（池ノ内地区ほ場整備）

1,517万円

農業生産性の向上・安定的な農業経営の確立等を促進するため、農地の基盤整備を行います。今年度は事業着手に必要な、換地処分原案の作成と実施設計（地区面積 21,7 ha）を行います。



▲八木町池ノ内地内のほ場整備予定地

●担い手育成事業

1,245万円

集落型農業法人への農作業受託および農業機械の導入について補助を行います。

●中山間直接支払事業

7,431万円

農業の生産条件に関する条件不利を補正するため、中山間地域に交付金を交付します。（対象は82集落）

●診療所地域医療活動助成金

2,500万円

過疎地域における医療を確保し、住民の健康の保持増進を図るため、その地域における医療機関の医療活動を支援します。

●公立南丹病院組合負担金

5億3,706万円

京都府中部地域における高度な医療供給体制を確保するため、公立南丹病院組合へ負担金を交付します。

企業誘致・連携

●企業支援事業（工場誘致事業奨励金）

3億0,800万円

誘致事業所に対し、奨励措置を行うことにより、積極的な工場誘致を図ります。

○京都新光悦村推進事業

（京都新光悦村企業立地奨励金）

744万円

京都新光悦村への誘致事業所に対し、奨励措置を行うことにより、積極的な工場誘致を図ります。



▲京都新光悦村（園部町内林町・瓜生野地区）

○京都新光悦村推進事業（感動創造ものづくりプロジェクト事業負担金）

50万円

京都府と連携し、「感動創造」をキーワードに、京都新光悦村のコンセプトの実現に向けた企業、学識経験者および関係団体らによる研修・講演・事例発表などを実施します。

●国民文化祭推進事業

46万円

「工芸」というものづくりに視点をあて、市内在住の工芸家や各種団体が取り組まれている活動を紹介できる連携事業を実施します。また、市民中心の国民文化祭開催に向けた取り組みを進めます。



▲今年2月に行った南丹工芸文化祭

安心安全

○防災ハザードマップ作成事業 **750万円**

水害予想図・地すべり危険区域マップ・液状化予想図などのハザードマップ、土砂災害危険箇所地図および避難所一覧などをまとめた総合的な防災地図を作成します。

○防災訓練事業 **300万円**

市地域防災計画に基づき、府、近隣市町、その他関係機関、自主防災組織および一般市民と協力して防災訓練を実施します。



▲実際の災害時と同様に訓練を行います

○^{りょう}橋梁保守点検委託料 **800万円**

市道橋りょうの長寿化計画を策定し、耐震強化を図るための基礎となる保守点検作業を旧町管内別に実施します。

●AED（自動体外式除細動器）購入費 **300万円**

公共施設などの利用者の不測の事態に備えて、利用者の多い施設などを中心に配備計画に基づきAEDを設置します。



▲突然の心停止から命を救うAED

●防災行政無線整備事業 **2億4,997万円**

美山町全域に防災行政無線の中継所と屋外拡声子局を整備し、各家庭に受信機を配備します。

○土地改良事業
（畑郷・和泉地区小規模農業基盤整備） **850万円**

老朽化した農業用水路を改良し、農業生産基盤の整備を図る。（畑郷地区・和泉地区）



▲美山町和泉地内の事業予定地

○観光基盤強化事業 **200万円**

日吉山の家グラウンド周囲の老朽化した排水溝の改修を行います。

●農地・水・環境保全向上対策事業 **2,431万円**

農業施設の維持管理や、自然・環境を守る地域活動に対し支援を行います。

●野菜等経営安定事業負担金 **1,083万円**

野菜7品目、花き1品目の価格安定対策基金へ負担金を交付します。



●南丹地区農用地総合整備事業負担金 **2億1,693万円**

独立行政法人緑資源機構が行う農用地総合整備事業に対し、市の事業負担金を支出します。

●南丹地区農用地総合整備事業負担金 **2億1,693万円**

独立行政法人緑資源機構が行う農用地総合整備事業に対し、市の事業負担金を支出します。

●野生鳥獣被害総合対策事業 **6,222万円**

有害鳥獣による被害を防止するため、直接捕獲対策を実施します。また、農家組合などが事業主体となって取り組む電気柵などの設置に対し、経費の一部を助成します。

●森林管理道開設事業（林道奥山向山線） **1億0,005万円**

丹波広域基幹林道への連絡道として、森林施業の集約化や高性能林業機械の導入による効率化・低コスト化を図るため、継続して林道を開設します。

地域情報基盤

●地域情報基盤整備事業

1億0,597万円

CATV全市開局記念事業を実施します。八木・美山共同受信施設の撤去工事を行います。



▲CATV事業を行う南丹市情報センター

道路網・交通網の整備

●本町土地区画整理事業

3億7,607万円

園部町本町の土地区画整理事業における建物等物件移転補償、道路築造および宅地整地工を実施します。



▲園部町の土地区画整理事業

●吉富駅西・八木駅西土地区画整理事業

1,960万円

JR吉富駅西地区(八木町)の事業認可申請業務と地質調査業務。八木駅西の事業調査設計業務を実施します。

●都市計画街路・上本町佛大線外1線・栄小山東町線外2線

3億3,410万円

事業用地の用地買収と建物移転を補償します。



▲都市計画街路の事業予定地(園部町栄町)

●耐震性貯水槽整備事業

3,200万円

市内5カ所に消防用耐震性貯水槽を設置します。

●小型動力ポンプ等整備事業

1,560万円

小型動力ポンプ2台(園部・日吉)、消防ポンプ積載車2台(園部・美山)を整備します。

第3章

人・物・情報を高度につなげる

道路網・交通網の整備

●山陰本線複線化整備事業補助金

4億3,184万円

JR山陰本線複線化整備事業(馬堀~園部)に係る補助金を交付します。



▲八木町地内でのJR複線化工事

●道路新設改良事業

4億3,859万円

市道八木馬路線(八木町)ほか18路線の道路新設および改良事業を実施します。



▲改良を行う市道八木馬路線(八木町)



○高齢者虐待防止事業
(ケースワーカー設置等)

233万円

高齢者虐待の早期発見・早期対応や、予防的な体制強化を進めるため、専門的な知識を有するケースワーカーを設置します。

●市有地等媒介手数料

300万円

園部町の平成台分譲地(市有地・土地開発公社所有地)について、民間の不動産業者団体に媒介依頼を行い、分譲地の販売促進を図ります。



▲園部町にある平成台

○公有財産等の処分等に関する
検討委員会運営費

27万円

遊休地となっている公有財産などの有効な活用方法や処分方法などの検討委員会を設置・運営します。



第4章
共に担うまちづくりの仕組みを築く

まちづくり・市民協働

○地域づくり出前講座事業

5万円

あらかじめ定めたテーマの中から講座を選んでもらい、職員が講師として地域の集会などに出向き、市の事業や施策などについて説明します。

○美山まちづくり委員会補助金

27万円

地域住民が一体となって、地域の課題を掘り起こし個性ある地域づくりや人材の育成をめざす美山まちづくり委員会の活動に対し補助金を交付します。

○産官学公連携協議会補助金

73万円

異業種のノウハウを結集して、地域の課題を掘り起こし個性ある地域づくりや人材の育成をめざす産官学公連携協議会(美山町)の活動運営に対し補助金を交付します。

●男女共同参画推進事業

239万円

男女が共に平等な存在として尊重され、一人ひとりの能力や個性を發揮することが出来る「男女共同参画社会」を実現するため、行動計画の策定、女性のネットワークづくり、フォーラムの開催などを行います。



▲今年2月に行った男女共同参画フォーラム「キラリなんたん」

○パートナーシップ推進事業
(市民協働推進事業)

87万円

フォーラムなどを開催し、市民や職員が市における「市民協働」のあり方を考え、市民が主体となって推進できる取り組みを検討していきます。

○行政評価推進事業

31万円

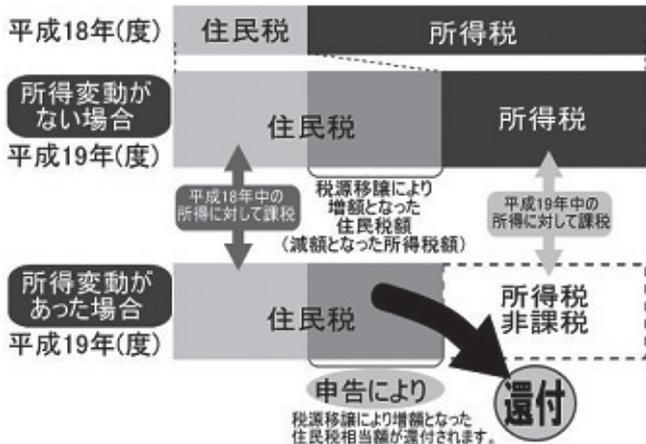
市民のニーズや動向を盛り込んだ事務事業や政策評価の体制整備を行い、評価結果に基づいた今後の方向性について、市民や学識経験者から意見を聞きます。

平成19年に所得が減って
所得税が課されなくなった方

**申告が
必要です!**

税源移譲により、所得税率の変更による税負担の軽減の影響は受けず、住民税率の変更による税負担の増加の影響のみを受ける方については、すでに納付済みの平成19年度分の住民税額から、税源移譲により増額となった住民税相当額を還付します。

【所得変動に伴う住民税の還付を受けるためには、申告が必要となります】



所得変動のモデルケース ●夫婦で給与収入 500万円の場合● (単位:円)

	平成18年(度)	平成19年(度)	
所得税	220,000	122,500	平成19年の収入が減少し、所得税が0円になった場合(※2)
住民税	130,000	227,500	
合計	350,000	350,000	

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

差額が還付されます!

	平成19年(度)収入なし		差額
	税源移譲前の税率	税源移譲後の税率	
所得税	0	0	0
住民税	130,000	227,500	97,500
合計	130,000	227,500	97,500

※1平成19年中に亡くなられた方や海外へ転居されて平成20年1月1日現在国内に居住されていない方には、この経過措置は適用されません。
※2この経過措置の対象となる方は、住民税と所得税の人的控除(配偶者控除、扶養控除、基礎控除など)種の合計額が、平成20年度の住民税の合計課税所得金額(課税長期譲渡所得等の金額がある場合は、これらの金額を合計した金額)以上になる方に限られます。したがって、寄附金控除額などの人的控除以外の控除額が増加したり、住宅ローン控除などによって所得税が課税されなくなった方には、この経過措置は適用されません。

ります) 平成19年度分住民税を課税した平成19年1月1日現在お住まいの市区町村へ減額申告書を提出してください。ほかの市区町村へ転居された方は、申告先をお間違えにならないようご注意ください。

【申告期間】

平成20年7月1日～7月31日まで
※該当すると思われる方には、6月末までに申告書を直接送付する予定です。該当するにもかかわらず申告書が届かない方は、市役所税務課または各支所地域総務課にお申し出ください。

**シートベルトは
あなたを守る命綱**



—後部座席のシートベルト着用が義務化されます—

道路交通法が改正され、後部座席もシートベルトの着用が平成20年6月1日から義務化されます。これに違反するとドライバーに対して1点が減点されます。後部座席でシートベルトを着

用していないと、衝突時に座席から投げ出され、全身を強打したり、車外に放り出されてしまいう大変危険です。また、後部座席の同乗者が、前部座席の運転者や助手席同乗者にぶつかり大きなダメージを与える可能性もあります。

交通事故にあつてから「あの時シートベルトをしていたら...」と思っても手遅れです。法律の施行にかかわらず、自分自身の安全のためにも、車に乗ったら後部座席を含め、常にシートベルトを着用するように心掛けてみましょう。

**公平委員会委員・
教育委員会委員を
選任**

公平委員会委員長に小林全弘さんが選任されました。
また教育委員会委員に小寺直見さんが就任されました。

(順不同、敬称略)

公平委員会委員

委員長	小林 全弘 (園部町 人)
職務代理	船越 廣子 (日吉町志和賀)
委員	八田 敦子 (八木町 木)

教育委員会委員

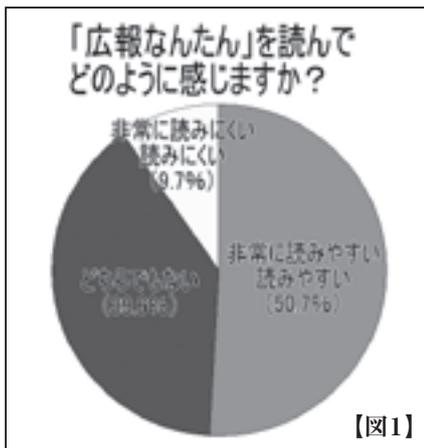
委員長	齊藤 進 (八木町 刑部)
職務代理	木村 光一 (美山町 豊郷)
委員	湯浅 照夫 (日吉町 生畑)
委員	小寺 直見 (園部町 横田)
教育長	牧野 修 (園部町 小桜町)

広報に関するアンケートを行いました

市民の皆さんの広報活動に関するご意見・ご感想をお聞かせいただき広報活動の充実を図るため、広報アンケートを実施しました。今後は「広報なんたん」、「お知らせなんたん」、「南丹市ホームページ」やCATV自主放送番組「9ちゃんねる」で、それぞれの特性に合わせた広報活動を行います。

回収率は41・7割

実施期間は平成20年2月15日から2月29日で、15歳以上の市民の中から、無作為に選ばせていただいた350人に、郵送し返信用封筒で回答をお願いしました。そのうち146人（回収率41・7割）から回答をいただきました。

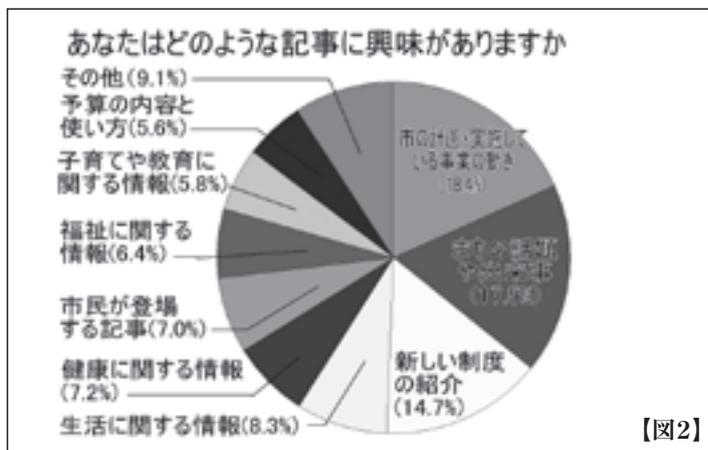


約9割が広報なんたんを読む

結果の概要は、広報なんたんについて、「毎号読む」「たまに読む」と回答した方が、87・5割でした。そのうち、「読みにくい」「非常に読みにくい」と回答した方が、9・7割でした。【図1】

興味のある記事について、特に多かった回答は、「市の計画・実施している事業の動き（18・4割）」、「まちの話題や出来事（17・5割）」、「新しい制度の紹介（14・7割）」でした。【図2】

南丹市ホームページについての質問では、「インターネットを利用したことがある」と回答した方が45・3割で、そのうち「南丹市ホームページを見たことがある」と回答した方は66・1割でした。



より充実した広報活動を

今年度から「広報なんたん」を2カ月に1回（奇数月の第2金曜日）の発行に変更しました。企画・特集記事の充実を図りながら、市民の皆さんの顔や声がたくさん登場する誌面づくりを目指します。

「お知らせなんたん」では、読みやすい紙面づくりとチラシなどの配布物の少量化を目指し、充実した内容をお届けします。

「南丹市ホームページ」では、見やすく使いやすい構成を心掛け、最新情報の掲載や映像配信の充実を図ります。また、有料広告（バナー広告）を平成20年度から掲載します。

「CATV自主放送番組」の9chコミュニティ放送では、一週間の出来事を毎週土曜日の「9ちゃんもぎたて☆テレビ」（再放送有）で放送しています。また、議会放送や学校紹介番組などを放送しています。9chは、南丹市ホームページでもライブ配信しています。

広報に関するお問い合わせ先

市役所情報推進課

☎ 0771-68-0019

詳しい集計結果は、南丹市ホームページ内 (<http://www.city.nantan.kyoto.jp/kouhou/enquete.html>) に掲載しています。

行政 トピックス

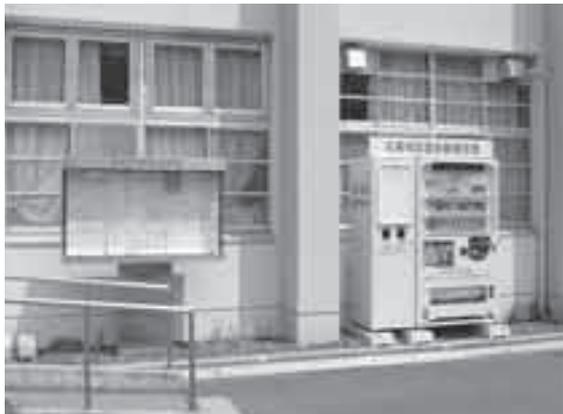


災害時に無償で飲料を提供

—近畿コカ・コーラボトリング
と災害時協定を締結—

南丹市では、近畿コカ・コーラボトリング（大阪府摂津市）と「災害時における飲料の提供協力に関する協定」を、3月5日に結びました。

これは、災害時に同社の物流拠



▲市役所に設置した災害対応型自動販売機



▲JR鍼灸大学前駅に設置した災害対応型自動販売機

点にある在庫飲料の無償提供と、災害時に災害対応型自動販売機の飲料の無償提供などについて協定を結んだものです。

災害時対応型自動販売機は、市内では市役所とJR鍼灸大学前駅（日吉町保野田）に設置しており、大規模災害が発生した時には、市役所からの遠隔操作で購入ボタンを押すだけで機内にある飲料が出てくるようになってい

ます。機内にはペットボトルなどで最大で600本が収納でき、大規模災害の発生時には備蓄飲料となります。また、前面の電光掲示板に災害情報が流れます。

市では、避難場所を中心に設置箇所を増やす予定です。

快適な通行を実現 向山橋がしゅん工

—向山橋完成式典—

美山町向山地区に架かる新しい「向山橋」が3月27日にしゅん工し、28日から利用を開始しました。

この橋は、昭和34年に架けられた旧向山橋の老朽化に伴い架け替えたもので、京都府の代行事業として総事業費13億円、5年の歳月をかけて実施しました。橋は全長200メートルの片側一車線道路で、塔から斜めに張ったケーブルで橋をつる斜張橋になっています。向山橋の完成により、快適な通行が実現しました。



▲橋のしゅん工を祝いテープカットする市長ら



▲新工場建設工事の安全を願いました

新工場建設の安全と 地域の発展を願う

—井筒八ッ橋本舗
新光悦村工場起工式—

4月4日、京都新光悦村に進出する5社目の企業となる「株式会社井筒八ッ橋本舗」（津田純一社長）の新工場起工式が行われ、佐々木市長ら関係者およそ30人が出席し、工事の安全を祈りました。

井筒八ッ橋本舗は京銘菓として知られる「八ッ橋」の製造・販売を行っておられる企業です。

新工場は今年11月末に完成予定で、主力商品の「八ッ橋」をはじめとする和菓子の製造・販売が予定されています。

若い力に期待します 46人が新たに入団

―南丹市消防団入退団式―

4月1日、市役所で南丹市消防団入退団式を行い、100人の団員が参加しました。

式典では新入団員46人を代表して八木支団の徳見崇団員が「良心に従って忠実に消防の義務を遂行することを誓います」と宣誓。最後に益田団長が「使命達成に向け、信頼される団員となることに期待します」と訓示を行いました。

本年度の南丹市消防団は団長をはじめ1,600人体制で、防災の要として日夜活動しています。



▲宣誓をする徳見崇団員



▲式典では参加者全員で渡り初めを行いました

八木市街地の交通を円滑に 夢かなえ橋がしゅん工

―夢かなえ橋完成式典―

4月26日、八木町の国道477号から京都縦貫自動車道八木ICを結ぶ西田大藪道路に架かる橋りょう「夢かなえ橋」の完成式典を行い、同日から利用を開始しました。

橋は全長194mの片側一車線道路で歩道が整備されており歩行者が安全に通行できるようになっています。

橋の名称は市立八木中学校3年生の竹井香菜さんが名付けたものを採用しました。

合併のメリットを生かし 信頼ある商工会を目指す

―南丹市商工会 開所式―

4月1日、南丹市商工会開所式が八木町八木の南丹市商工会本所で開催されました。関係者が出席のもと、玄関前で銘板除幕とテープカットが行われ、南丹市商工会の新たな門出を祝福しました。

式では、武田晏和会長が「会員の満足度を高め、信頼ある商工会を目指す」とあいさつ。商工会は、地域の特徴・特性を尊重しつつ、事業実施体制の強化を図るため、市内の4町商工会が合併され新しく発足されたものです。



▲銘板が除幕され南丹市商工会がスタートしました

南丹市人権擁護委員に任命

4月1日付けで、3人の方が南丹市人権擁護委員に任命されました。(2人の方は再任)南丹市では17人の人権擁護委員が法務大臣から委嘱されています。

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、地域住民の皆さんの人権が侵害されないように注意を払い、もし人権が侵害されたときはその相談を受け、すみやかに適切な処理を行います。相談については秘密を守り、皆さんの毎日の生活の中の身近なことから相談できます。

新任 (敬称略)

藤原 良恭 (美山町大野)
☎75-0525

再任 (順不同・敬称略)

藤井日出夫 (日吉町田原)
☎73-0133
南條 敏子 (美山町鶴ヶ岡)
☎76-0747

退任 (敬称略)

中西 文雄 (美山町上平屋)

人権擁護委員に関するお問い合わせ

せ先

市役所市民課

☎0771-68-0005

いきいき南丹

-25-

お元気ですか？
保健師です。



未成年とタバコ

「未来ある子どもたちのためにできること」

「タバコによる健康被害」と聞くと、大人への影響ばかりを考えてしまいますが、今回は、未成年者の喫煙にスポットをあてて考えてみましょう。

タバコがもたらす被害

① 学習能力の低下

喫煙により体に取り込まれた一酸化炭素は、赤血球と結びつき、酸素の運搬を妨げるため、全身の細胞を酸欠状態にします。そのため疲れやすくなり、集中力が低下します。それは脳の血流量にも大きく関係し、思考力・学習能力の低下につながります。

② 肌荒れ・小じわ

タバコは、肌の老化を防ぐビタミンCを破壊します。またタバコ

に含まれるニコチンは、皮膚のくすみや乾燥の原因になります。

③ 運動能力（持久力）の低下

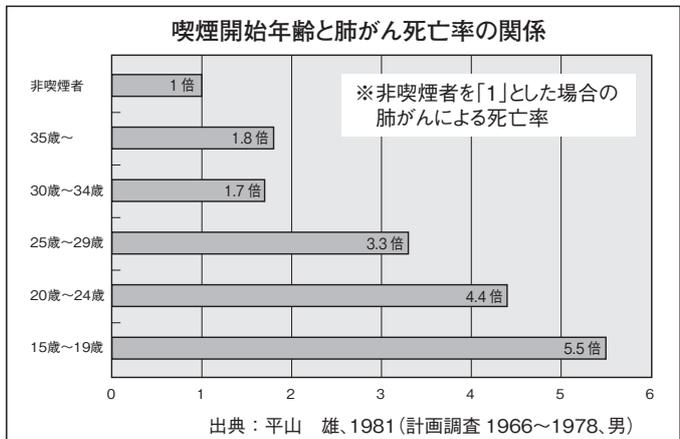
タバコを吸い始めると一酸化炭素の影響で血管が収縮します。すると体内の酸素の運搬が妨げられ、運動中に早く苦しくなってしまう。

そのほかにも、タバコには約四十種類の有害物質が含まれており、喫煙年数が長くなるほど、がん、心疾患、十二指腸潰瘍などの疾患にかかるリスクが高くなります。

そして喫煙は、大人より成長期（20歳まで）の方が悪影響を受けることが医学的にも明らかです。

成長期からの長期喫煙が及ぼすリスクを考えたなら、決して「タ

喫煙開始年齢と肺がん死亡率の関係



バコぐらい」と喫煙行動を見逃してはいけません。

大人が子どもたちにできること

社会的にも未成年者の喫煙防止対策として、2008年3月から、タバコの自動販売機が、成人にのみ発行される「taspo（タスポ）」カード対応の自動販売機に切り替わっていきます。

未成年者の喫煙防止に向けた環境が整備されつつある中で、地域

の大人ができることは、

＊未成年者の前では、タバコを吸わない

＊未成年者の手の届くところにタバコを置かない

ことが重要です。未来ある子どもたちのためにも、今一度、子どもたちに及ぼす喫煙の影響を考えてください。

5月31日は
“世界保健機関（WHO）”が定める
世界禁煙デーです



厚生労働省では、世界禁煙デーから始まる1週間（5月31日～6月6日）を「禁煙週間」と定めています。

喫煙が健康に与える影響は大きく、受動喫煙（非喫煙者がほかの人のタバコの煙を吸ってしまうこと）の危険性やニコチンの依存性を考えると、喫煙習慣は健康問題として、また、生活習慣病の予防の上で、重要な課題となっています。「どうせ挫折するし」とあきらめず、何度もチャレンジし、確実な禁煙をお勧めします。



役に立てる喜び、気の合う仲間ですいつも朗らか

かかし ～案山子の会～

日吉町志和賀に工房を構える農産加工グループ「案山子の会」。工房からは、調理する音や笑い声が朗らかに聞こえてきます。

平成18年1月、地元の女性6人が、「地域で何か自分たちでできることをしたい」と集まり、地域の方々と家族など多くの理解と協力を得て活動拠点となる工房をオープン。グループの名前は、田畑で作物を見守る案山子のように、地域を温かく守れるような存在になりたいとの思いで「案山子の会」と名付けられました。

一番の自慢の品は、ぽつてりとした「おはぎ」。地元産の丹波大納言あずきやもち米を使って素朴でなじみのある味に仕上げられます。最近開発された新商品の「サン



「みぶ菜ぎょうざ」

【材料】(30個分)

ギョーザの皮 (30枚)、豚ひき肉 (150g)
みぶ菜 (100g)、白菜 (100g)、ニラ (30g)
生しいたけ (中1個)、土しょうが (15g)
乾ひじき (3g)、卵 (1個)
塩 (小さじ1/2)、ごま油 (大さじ1)

【作り方】

- ① みぶ菜、白菜は、みじん切りにして塩でよくもみ、水気をしぼる。
- ② ニラ、しいたけ、しょうがも、みじん切りにする。
- ③ ひじきは水で戻して、水気を切る。
- ④ 豚ひき肉と卵と①②③の材料をよく混ぜ合わせる。
- ⑤ ④を30等分にし、ギョーザの皮の中央にのせ、皮のふちに水を少しつけて、ひだを寄せてとじる。
- ⑥ フライパンを十分に熱してから、ごま油を入れ、一度火からはずしてギョーザを並べ入れ、再び火にかけて焼き目をつける。
- ⑦ ⑥に熱湯を少し入れ、ふたをして水分がなくなるまで中火で蒸し焼きにする。
- ⑧ お皿に盛り、お好みでポン酢などでお召し上がりください。

案山子の会 代表 吉田美千子
TEL : (0771) 72-0549 (吉田)
TEL : (0771) 72-0866 (船越)



▲「サンヤーカーコンの粕漬け」の袋詰め作業

ヤーカーコンの「粕漬け」は、しゃきしゃきとした食感が特徴で、スプリングスひよしの朝市などで販売を予定されています。ほかにも、旬の食材を使った仕出し弁当や寿司など、注文に応じて作られています。

昨年度は、京都府の事業を受けて「こども食育体験教室」を開催。食の大切さや地域の農産物を、子どもたちを楽しみながら自然に理解してもらおうと、壬生菜の収穫からぎょうざ作り、みんなで長巻

き寿司作りなどが行われました。子どもたちのいきいきとした表情に教室は大好評だったそうです。会の代表を務める吉田美千子さんは、「おかげさまでたくさん注文を頂いて大忙し。地域の皆さんに喜んでもらえることができるのは何より嬉しいこと。気の合う仲間と和を大事にしながら、ふるさとの伝統の味と心を大切に伝えていきたい」と、これから大きく膨らむようです。



▲「おはぎ」は一番の人気商品です

各図書館の開館時間

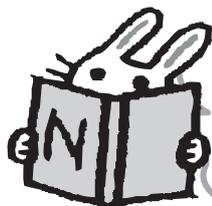
(休館日) 毎週月曜日・祝日

中央図書館：9時～17時

八木図書室：10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：9時～18時・(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時



イメージキャラクター“なびっと”

図書館へようこそ!

No.10

図書館へ行こう!

図書館・室では、年間を通じて皆さんに親んでもらえるような催しを企画しています。新しく南丹市民になれた皆さん、ぜひ図書館へ来てください。

この春から、新しく南丹市民になられた方や、市内の学校に入学された方。ぜひ、図書館を利用してください。

利用カードの作成

南丹市内に在住・在勤・在学されている方は、「図書館利用カード」を作成することで、図書の貸し出しなどのサービスが受けられます。カードを作るには『保険証』『運転免許証』『学生証』などの身分証明が必要です。

貸し出しサービス

図書館・室では、図書や雑誌(最新号を除く)のほか、紙芝居、CD、DVD、ビデオ



▲図書館利用者カード

オの貸し出しを行っています。

貸し出し数は

* 図書・雑誌・紙芝居 (1人5冊まで 2週間)

* CD・DVD・ビデオ (1人2点まで 1週間) となっています。

閲覧サービス

新聞資料や郷土資料、参考書などで『館内・禁帯出』となっているものなどは、貸し出しはできませんが、館内で閲覧できます。

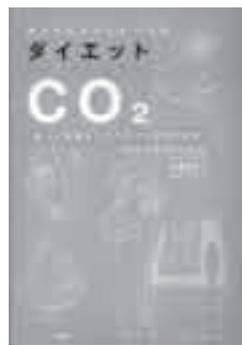
蔵書検索サービス

カウンター横にはパソコンで蔵書検索ができるようになっていきます。探したい本がすぐに見つかります。

予約・リクエストサービス

貸し出し中の資料は、予約ができます。また希望の本が無い場合には、カウンター横

新刊紹介



「あなたにもすぐにできるダイエットCO2」

著：デビット・カーソン
発行：PHP研究所

この本は、地球環境をよくするためのダイエット本です。シャワーは5分以内、節水器具を付ける、エアコンを掃除するなど…。
一人ひとりが温暖化防止をするためにできることを伝えています。



「オオカミグーのほしかしいひみつ」

作：きむらゆういち
絵：みやにしたつや
発行：童心社

オオカミグーのグーはお母さんが嫌いでした。それはお母さんがイタチだからです。みなしごのグーをイタチのお母さんが育ててくれたのに…。グーのお母さんの愛を真剣に受け止めるできごとがある日起こります。

南丹市の図書館に関する最新情報はホームページ (http://library.intracity.nantankyoto.jp/) で更新しています。おはなし会やイベントを掲載しているほか、蔵書検索もできます。

このほかにも、日常生活のちょっとした疑問にお答えする「リファレンスサービス」や、コピーサービス(要利用料)があります。

「気がついたときがスタート」

「子

育て」ってなんだろうとよく考

えることがあります。そのとき決まって私は『子ども自身が持っている育とうとする力に働きかけ応援してやること』と言いきかせてきました。

今、子育てに不安感や負担感、イライラ感を感じ

ている人が増えてきて

いるといわれていますが、子育てにはベターはあっても、ベストはありません。あきらめたくなくなった、捨て鉢になることは長い子育ての道のりのどこかであるかもしれません。

そ

んなとき、自分の子育てを応援してくれる人がいてくれたらどれだけ気が楽になるでしょう。子育ての応援団は、多ければ多いほどいいのです。

応援の仕方は、直接子育てを手伝ってもらうこと、子育ての悩みや、不安の相談にのってもらうことなどいろいろあります。一人で悩まないで、一人で負担を感じないでみんなに応援を頼みましょう。

子育ては、まずかったと思えばやり直せばいいのです。失敗だったと感じたら今よりちょっとよく

なるように工夫すればいいのです。

子

どものことで親が悲観的に

なっても、良いことは何も起こりません。リセットボタンを押ししてゼロからやり直したいと思うこともあるでしょう。が、ゼロにできないところが、つらいところであると同時に、人間の強みでもあるのです。

親になつていく試行錯誤のプロ

セスに寄り添いながら、子どもの成長や発達を具体的に話し合い、考え合うことによって、子育てがもう少し楽しいものになるのではないのでしょうか。

気軽に話をしに来てみませんか？

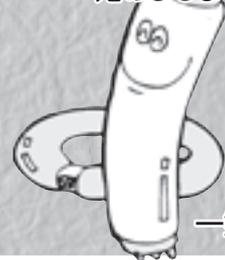
(南丹市福祉事務所

福祉相談支援担当 土佐順貞)



環・境・市・民

～環境にやさしい生活
始めましょう～



—第1回—

さあ始めよう！

家庭でできる省エネ①

—照明編—

昼間や、人がいない部屋の照明は、小まめに消しましょう。

特にトイレや玄関は消し忘れに注意しましょう。

蛍光灯は部屋の広さに合わせて選び、定期的な掃除で明るさが保てます。

ワンポイントアドバイス

電球形蛍光灯に取り替えて、電力消費とCO₂(二酸化炭素)排出を抑えよう！

照明は毎日必ず使っている



ものなので、白熱電球より省エネ性の高い電球形蛍光灯プを使いましょう。小型電球対応の口径のものもあります。

環境Q&A

◎電球形蛍光灯ランプで、どのくらい省エネできますか？

▲電気代は約4分の1になり、寿命は白熱電球の約6倍のものもあります。

蛍光灯は白熱電球よりもエネルギー効率率が3～5倍も高いのです。白熱電球と同じ明るさに相当する電球形蛍光灯ランプに取り替えるだけで、電力消費とCO₂排出量をかなり削減できます。電気代もお得でランプの寿命が長いため、その分、交換の手間もゴミも減らせます。

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲新緑の府民の森を背に一齐にスタートするランナー

府民の森ひよしをスタート・ゴールとする第11回日吉ダムマラソン大会が開催され、1,779人のランナーが新緑あふれる日吉ダム湖畔で健脚を競いました。当日は好天に恵まれた絶好のマラソン日和となり、午前11時にスタートしたランナーの力走に、市民や観光客から大きな声援が送られていました。

今大会には300を超える人のボランティアスタッフに、前日の会場設営や当日の給水・監察などの大会運営、後片付けに協力をいただいたほか、明治国際医療大学の協力でランナーのサポートも行われました。

「1,779人のランナーが新緑の日吉ダム湖畔を快走」

（4 / 20 第11回日吉ダムマラソン大会）

第11回 日吉ダムマラソン大会の記録(敬称略)

種目	優勝者	タイム
ハーフマラソン (21.0975 ^{km})	男子	40歳未満 南部 恭一 1時間13分59秒
		40歳代 川辺 敬 1時間19分31秒
		50歳代 松本 一之 1時間23分02秒
		60歳以上 藤田 邦昭 1時間34分33秒
	女子	40歳未満 堀口真由美 1時間36分48秒
		50歳代 谷 洋子 1時間46分52秒
60歳以上 十川 敏子 2時間12分02秒		
10 ^{km} ロードレース	男子 橋本 猛志 34分07秒	
	女子 中島 早苗 40分39秒	
ファミリーレース (3.0 ^{km})	井田 湧希 10分03秒	



▲フリーマーケットや和太鼓で盛り上がった大堰川さくら祭り(八木町)

「さくら色に染まったふるさとの春」

(第15回大堰川さくら祭り・第23回京都・美山大野ダムさくら祭り)

八木町の大堰川緑地公園では4月5日に「第15回大堰川さくら祭り」(八木町観光協会主催)が行われました。満開の桜並木の河川敷ではフリーマーケットや親子太鼓・生バンドの演奏など、多くの人でにぎわいました。

また、美山町の大野ダムでは4月5日から13日まで「第23回 京都・美山大野ダムさくら祭り」(同実行委員会主催)が行われました。大野小学校児童によるふるさと太鼓の演奏や桜のライトアップが行われたほか、12日には花火の打ち上げもあり、訪れた人たちを楽しませました。



▲満開の桜と花火が映える大野ダムさくら祭り(美山町)



▲マジックや朗読など、日ごろの活動を発表されました

南丹市社会福祉協議会ボランティアバンク運営委員会が主催した第1回南丹市ボランティア交流会が市国際交流会館で行われ、およそ140人が参加しました。交流会では運営委員会委員長の田中正子さんが「活動を行っている者同士の交流を深めたい」とあいさつ。その後、旧町ごとに日ごろの活動を発表しました。続いて、華頂短期大学社会福祉学科准教授の名賀亨さんによる講演では「ボランティアは“違い”を大切にする活動。相手との“違い”を認め合うことから始まる」と話されました。

(3/21 第1回南丹市ボランティア交流会)

「ボランティアは“違い”を大切にしている活動」

平成20年度の美山山村留学センター「四季の里」入所式が行われました。旧美山町で平成10年から始まった山村留学は、小学生が1年間親元を離れ、留学センターや里親家庭で生活しながら、地元の知井小学校で学ぶものです。今年度は8人が入所され、遠くは神奈川県からも来られました。式では子どもたちが「勉強と農作業に頑張りたい」「自然の中でいっぱい遊びたい」と新たな生活への思いを発表されました。



▲8人の児童が入所しました

(4/5 美山山村留学センター入所式)

「自然の中でいっぱい遊びたい」

「ゆずりあい笑顔があふれる京の春」

4月6日から15日までの期間、全国春の交通安全運動が実施されました。7日には市域を管轄する南丹警察署で「春の交通安全運動スタート式」が行われ、自転車の安全利用の促進や同乗幼児のヘルメット着用の徹底、飲酒運転の根絶などの啓発として市全域をパレードしました。また、式では交通安全漫才として日吉町在住の中川巖さんと平川きみさんによる「たこやき」と題した漫才が披露されました。お二人の軽妙な掛け合いに、会場は笑顔があふれていました。



▲交通安全漫才を披露される中川巖さん(左)と平川きみさん(右)

(4/8 春の交通安全運動スタート式)

「魅力あふれる『用の美』展示」



▲若手職人による芸の実演や販売も行われました

京都伝統工芸職人展「用の美の空間」が4月1日から27日まで、美山町島の美山かやぶき美術館で行われ、市内の工芸家や京都伝統工芸大学校で学んだ工芸家など、南丹地域にゆかりのある方々による作品が並びました。展示されたのは、用途を持つからこそ備わっている「用の美」(機能美)のある陶器や竹・木工芸などおよそ30点の作品です。開催期間中の土・日曜日には竹・木工芸の実演もあり、暮らしの中に根付くものづくりの魅力があふれた展示会でした。

(京都伝統工芸職人展「用の美の空間」)

南丹市の「花・木・鳥」が決まりました



市の花 さくら

選定理由：心に春を呼び、人を幸せな気持ちにさせる「さくら」は、日本を代表する花として広く愛され、人生の節目の中で、その思い出とともに心に刻み込まれる花です。

また、市内には桜の名所も多く、そこには人が集い、まぶしい笑顔に囲まれます。

ふるさと南丹市の歩み行く明るい未来を象徴し、豊かな文化が花開くまちづくりにふさわしい「さくら」を市の花として選定しました。

市の木 ぶな

選定理由：新緑のころにはその若葉や木漏れ日が美しい「ぶな」は、その落ち葉で森に栄養を与え、根は水源かん養するなど、その営みの中でこの豊かな自然を守っています。

また、比較的冷涼な山間部に多く、地球温暖化の影響を受ける樹木であるともいわれています。

南丹市の恵まれた自然環境を守り育て、次代に引き継いでいくための環境バロメーターとして「ぶな」を市の木として選定しました。



市の鳥 オオルリ

選定理由：春とともに里山を訪れる「オオルリ」は、ウグイス、コマドリと並んで日本三鳴鳥のひとつとなっています。

また、そのさえずりは姿と同様に美しく、市内の里山周辺でよく聞くことができます。

この美しいふるさと南丹市に住む市民の幸せの象徴として「オオルリ」を市の鳥として選定しました。

編集後記

広報なんたんリニューアル第1号の特集は「川」。取材を通じて、川は私たちの生活を映す鏡であると同時に、いつの時代にもなくてはならないものだということを実感しました。河川環境を守る第一歩は、川に親しみ、川を知ることから始まりま

す。出したごみを持ち帰るなどのマナーはもちろん、ルールを守り、川面に澄んだ姿が映るか確かめてみてください。(S)



- 総人口：35,424人(+42)
(男：17,083人・女：18,341人)
(+53) (-11)
- 世帯数：13,526世帯(+107)
(平成20年5月1日現在)
()内は前月比



● 園部町
吉田 ゆうた 悠太くん (2歳)

「元気にすくすく育てね」

(パパ・ママより)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで



編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL:<http://www.city.nantan.kyoto.jp>
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp